

加茂市



議会だより



完成間近の 体操トレーニングセンター (駒岡地内)

年頭にあたって



加茂市議会議長
関 龍雄

新春を迎え、市議会を代表して、市民の皆様にご挨拶を申し上げます。また旧年中は、本市議会に對しまして、格別なるご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、県内の景気状況は、緩やかな回復をみせていると聞いておりますが、一方自然界においては、大寒波の襲来で各地で記録的な大雪となりました。

本年も議会の活性化を図り、開かれた議会をめざしてまいりたいと考えておりますので、何とぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

- 一般会計補正予算を可決… (2)
- 委員会の審査から… (3)
- 12人が一般質問に登壇… (4)
- 平成17年の議会… (7)
- 議決状況一覧表… (8)

〈主な内容〉

一般会計補正予算を可決

十二月定例市議会は、六日から二十一日まで会期十六日間で開かれました。この定例会では、各会計補正予算、条例の改正、人事など市長提出議案二十二件を慎重に審議の結果、すべて原案可決、認定、同意しました。

また、議員提出の条例一件は、継続審査となりました。なお、議員提出の意見書二件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の主な内容は、次のとおりです。

体育施設条例の一部改正など可決

条例改正 体育施設条例は、体操トレーニングセンターの開館に伴い使用料等を定めるもので、老人福祉施設条例は、ゆきつばき荘などの料金体系の変更を行うものです。

補正予算 一般会計は、第十号、十二号補正で八千六百三十三万円を増額し、予算の総額を百三十四億六千四

百六十二万二千円とするものです。歳出の主なものは、生活保護費扶助費三千百万円、企業設置奨励事業費千三百九十七万四千円などを増額し、職員人件費五百三十七万五千円を減額するものです。

教育委員に同意

人事 定例会初日の本会議で、十二月十七日に任期満了となる教育委員会委員に、保坂裕一氏（穀町、45歳）の任命について、また、十二月三十一日に任期満了となる公平委員会委員に、大森康正氏（五番町、72歳）の選任について、同意しました。

国民健康保険特別会計は、総額一億八千二百八十二万六千円を増額し、予算の総額を二十八億六千四百六十六万六千円とするものです。

平成十六年度決算を認定

歳出の内容は、保険給付費一億八千三十九万一千円などの増額です。

決算 一般会計と各特別会計の平成十六年度決算について、各特別委員長

老人保健特別会計は、二億五千四百二十二万五千円を増額し、予算の総額を三十三億六千七百六十二万円とするものです。

規約等変更

県央広域市町村圏協議会などは市町村合併に伴い規約、定款の変更をするものです。

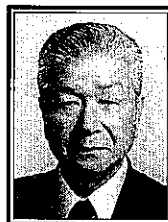
また、各特別会計の決算は、いずれも去冬一致で認定しました。※各会計別の決算状況は、別表のとおりです。

12月定例会

平成16年度 会計別決算状況 (単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	
一般会計	13,006,170	12,658,142	348,028	47,177	300,851	
特別会計	国民健康保険	2,513,662	2,599,318	△85,656	-	△85,656
	老人保健	3,248,350	3,303,926	△55,576	-	△55,576
	宅地造成事業	127,307	24,810	102,497	-	102,497
	下水道事業	1,863,757	1,849,687	14,070	-	14,070
	介護保険	1,833,312	1,798,511	34,801	-	34,801
	在宅介護サービス事業	460,833	415,744	45,089	-	45,089

古山一作議員 逝去



古山一作議員は、療養中のごとく十一月六日午前七時三十分逝去されました。享年八十一歳。

故古山議員は、昭和四十二年五月一日から本市議会議員として連続十期三十八年余りの長きにわたり、市政に多大な貢献をされました。この間、議長、副議長、監査委員、総務文教常任委員長などの要職を歴任されました。ここに、生前の功績を偲び謹んでご冥福をお祈りします。

12月定例会日程

6日	日	市議会
7日	日	市議会
8日	日	市議会
9日	日	市議会
12日	日	市議会
13日	日	市議会
14日	日	市議会
15日	日	市議会
16日	日	市議会
19日	日	市議会
21日	日	市議会

総務文教委の審査から

各常任委員会に付託された議案及び請願は、十二月十二日から十四日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、情報公開条例を継続審査としたほかは、議案はすべて原案可決、請願は採択すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

十二月十二日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

十二月十三日に委員会を開催し、一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算など付託された議案四件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

十二月十四日に委員会を開催

し、一般会計補正予算など付託された議案六件について、説明を受け慎重に審査した結果、議案は特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、情報公開条例は継続審査すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会

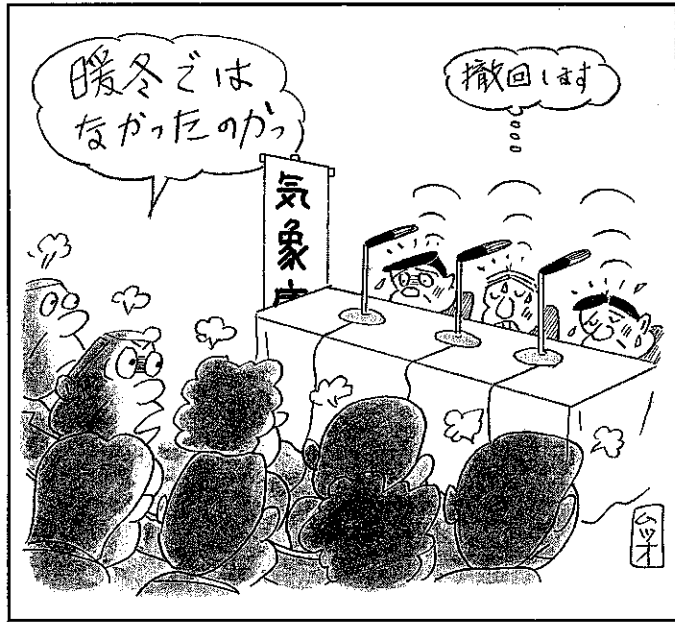
一般会計と各特別会計の平成十六年度決算については、三つの決算審査特別委員会を設置し十二月十五日から十九日の間に各特別委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

一般会計決算は、決算審査第一及び第二特別委員会では、全会一致で認定すべきものと決定しましたが、決算審査第三特別委員会では、討論の後、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

また、各特別会計決算は、いずれも全会一致で認定すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会の構成 ※議長を除く。

- ◎委員長 ○副委員長
- 決算審査第一特別委員会
- ◎小野吉太郎 ○広野 豊作
- 高井 保 安中 弘
- 樋口 博務 大桃 一明
- 一般会計歳出のうち所管の部分
- ・ 国民健康保険特別会計
- ・ 老人保健特別会計
- ・ 介護保険特別会計
- ・ 在宅介護サービス事業特別会計



豪雪、厳冬 羽生 六男



総務文教常任委員会の現地視察 (体操トレーニングセンター)

- 決算審査第二特別委員会
- ◎高橋 禧雄 ○安中 利男
- 森山 一理 安田 憲喜
- 大関 勝正 樋口 浩二
- 一般会計歳入及び歳出のうち所管の部分
- ・ 宅地造成事業特別会計
- ・ 下水道事業特別会計

- 決算審査第三特別委員会
- ◎佐野正三良 ○田沢 弘一
- 山田 義栄 中野 元栄
- 茂岡明与司 安武 秀敏
- 星野 昭吾 今井 詔一
- 一般会計歳出のうち所管の部分

10月会 十月二十八日に臨時市議会が開かれ、三条地域水道用水供給企業団の規約変更が、原案可決されました。

11月会 十一月二十四日に臨時市議会が開かれ、市長から提出された一般会計補正予算など議案五件が原案可決されました。

1月会 一月二十三日臨時市議会が開かれ、市長から提出された一般会計補正予算など議案五件が承認・原案可決されました。

十年後の加茂市の姿をどんな風に描いているか

市民クラブ 高井 保 議員

質問 ① 今の時代、これからは地域住民の納得の上で協調と協働が必要なきと認識している。加茂市の姿を市民みんなで考え描く基本構想の策定が必要である。

② 市長は、加茂市は合併という毒牙から逃れることができたゆえに十年後には加茂市はさん然と輝くまちなっているというが、市長の頭の中に描かれている未来にさん然と輝く加茂市とは、一体どんな加茂市なのか、是非聞かせてほしい。

答弁 ① 基本構想、すなわち長期計画は、右肩上がりの時代につくるべきで、現在のようない時代につくると大やけどする。

市政の内容を聞く

一般質問

十二月定例会では初

日から十二人の議員が

一般質問を行い市政

全般について所見や

執行状況を問いただ

しました。その要点

をお知らせします。



加茂山の初景色

加茂西小学校の建設と公募債の発行を望む

無所属 田沢弘一 議員

② 私は、十年後、二十年後の加茂市は、次のいずれかになっていると思う。一、政策が攻守よろしきを得て日本一のまちとしてさん然と輝き続ける。二、財政再建団体に転落して現在の高い市政の水準は最低になる。三、田上町と合併し、地方交付税を大幅に減らされて共倒れとなり、高い市政の水準は最低になる。このときは、また財政再

質問 ① 小池市長が就任した平成七年度、予算化されていた西小学校の建設用地一万八千平方

メートルの取得が実現を見たことで、地元では校舎新築への期待が高まり、学校本体の着工が待たれてきたところである。平成十五年完成した旧下田村の荒沢小学校や、来年九月の完成を目指し

建団体になる可能性が高い。四、加茂市は三条市か新潟市に合併させられて消滅している。以上の四つのいずれかだと思いが、現在の加茂市議会と加茂市長ががっちり連携し、よもやま話路線を堅持して市政を推進していく限り、第一の状態、すなわち加茂市は日本一のまちとしてさん然と輝くまちなであり続けるものと確信している。

質問 ① 旧山古志村の二校の建設費を調査してみると、二校とも相当な床面積を有しながら、建

物は十億円未満の額で建てられている。そこで、公募債の発行なども視野に入れ、西小学校の着工の時期と概算事業費について伺いたい。

② 加茂市の文化の振興のため市民の文芸誌の発行を望む。

二〇〇九年新潟国体の準備体制について

公明党 佐野正三良 議員

質問 ① 新潟国体が四年後に開催され、加茂市では勤労者体

育センターがボクシング会場と決定されている。その準備体制として、四〇三号線からのアクセスとして、千刈駒岡線の道路整備をまちづくり交付金事業として推進できないか。また、駐車場や宿泊施設などの受け入れ態勢の取り組みについて尋ねる。

② 地域ブランドの育成については今後も取り組む必要があるが、今年度採択された加茂木工ブランドの評価について考えを聞きたい。

③ 第三平成園の建設とデイサービスセンターの増築について考えを伺う。

答弁 ① 都市計画道路千刈駒岡線の未整備区間は温水プール

① 西小学校の建て替えについては、西小学区以外の市民は、既に教室も確保され、スクールバスで西小から五分くらい石川小学校へ統合すべきだという意見がほとんどである。西小学区内でも内々にはかなりの保護者の方が、子供の将来のことを考えると、石川小で大勢の子供と一緒に勉強させた方がよいと考えておられるようである。そうした中で、私は断固主張しているところである。

概算事業費は十五億七千三百五十万円と見込んでおり、市の一般財源は三億八百五十万円となる。

また、一般財源に公募債を発行してはどの質問であるが公募債の発行はできない。

② 文芸というものは、官から離れた自由なものであるのが本筋であり、官がやるには適していないと思っている。

詳しくは会議録で

十二月定例会の会議録は、二月下旬に発行予定です。

議会図書室、図書館、勤労青少年ホーム、老人福祉センター、各コミュニケーションセンター、新潟経営大学図書館でご利用ください。

なお視察報告についても、会議録と同じ場所でもらってください。

また、視察報告は、市議会ホームページでもらうことができます。

から国道四〇三号線まで、延長千四百十メートルあり、事業規模は約三十億円くらいかあり、赤谷の自然は壊滅的な打撃を受け、また商店街も反対しており、建設は困難である。次に周辺等受け入れ態勢については、県等と十分連絡をとりながら進めたい。

② 加茂木工ブランド海外市場販路確立推進委員会を立ち上げ事業を進め、本年九月に中国の上海に出展し、商談に関しては契約までには至らなかったがなかなか手応えがあったようである。現在は、上海での反省を踏まえて、来年二月のフランクフルト・メッセ・アビエンテ二〇〇六への出展を目指している。

③ 第三平成園の建設については、財政状況等を見ながら、努力目標として、次の任期中に着手できればと考えている。

小京都文化町並み景観形成の課題について

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 先般の六月定例会で、新町以東の道路拡幅事業にあわせて、小京都文化ゾーンの設定をと提案し、当局より基本的な賛意をいただいたので、今回はその具現化について若干の提案をし、あわせて現在までの進捗状況と今後の方針について伺いたい。提案は「風景を生かした町づくり」で、道路や水路の景観についてであり、宮大門から新町までの谷通りと上江川は商店街の裏通りであるが、ここが最も頼もしく、うまく演出すれば可能性を秘めたところと考えている。路面を石畳にし、川のふちも割石積みを実施するなど新町商店街の近代化事業と合わせて表裏一体のよい計画を立ててもらいたい。

答弁 ① 質問については、議員の指摘のように、新町の街路拡幅事業がそのかぎを握っており、私としては、できるだけ早く新町の関係の方々全員と話をしたいと申し入れているところである。しかしながら、まだ新町の方々の体制が整っていないようで返事が来っていない。したがって、新町の方々の総意が全くわからない状況にある。今後関係の方々全員と話をしてみ

情報公開条例の制定について

市民クラブ 安武秀敏 議員

古い景観を持った町並みをどの程度建設する意思があるのかをよく確かめる必要があると思っ

質問 ① 情報公開条例の制定は、行政側にとつては当然の措置である。情報を公開することによって住民の知る権利を保障し、これが住民の行政への参加意欲を増進し、住民の行政に対する信頼の回復と協力を高め、結果的に住民の生活の充実と向上に結びつくと言われ、これがまた本来行政が果たすべき使命、機能と合致することになる。いわばこれまでの閉鎖的な行政主導型から真のガラス張りのオープンな住民主導型へ転換する手段として理解を深めるべきと考える。加茂市もこの条例の制定の一日も早い実現を望むものであるが市長の制定に向けての考

えと、また進捗状況を伺う。
答弁 ① 情報公開条例制定については、十二月市議会に間に

加茂市在宅介護支援事業について

日本共産党 大桃一明 議員

質問 ① 最近国は財政の多端の折りから、地方自治体独自で減免制度をとっている特に介護保険関係あるいは児童、乳幼児の助成制度について、厳しく指導をしてくれている。ついにはこれらの利用助成制度を来年度に

示方法について改善をお願いしたい。
③ 旧新潟地方事務局加茂出張所を気軽に使える区民集会場に再利用する考えはないかを問う。

答弁 ① 訪問介護と訪問看護の利用料助成制度については、県の指導監督において、節度ある運営にと口頭で言われたことはあるが正式には是正指導はされていない。加茂市は断固として介護料、在宅介護料、在宅看護料、無料の制度を堅持しなければならぬと思っている。同時に

平成十九年度実施の「経営所得安定対策等大綱」について

市政クラブ 茂岡明與司 議員

質問 ① 我が国農業の「経営所得安定対策等大綱」がことしの十月二十八日に閣議決定された。この大綱では、新たに三つの対策を骨子として、四鈔以上の経営の個人及び法人認定農業者と、経理の一元化面積二十鈔以上の要件を満たす組織団体を主体的に補助するもので、十九年度から実施するとしている。この大転換は千二百戸の農家を抱える加茂市にとっても大きな問題であるが、この大綱に対する考えと市の対応について伺いたい。

② 県道出戸村松線の改良の推進と、併せて上、中大谷地区の上水道の未給水について、市長の考えを伺いたい。
答弁 ① 政府は農業構造改革を加速するとして、大規模農家に、今度十二月一日から始めた乳幼児の入学前までの完全無料化も断固守らなければならぬ。
② ながいきストリートの川柳の掲示方法については、商店街協同組合の事業でもあり、商店街に任せておいてよいのではないかと感じるを受けている。
③ 西加茂の方々が集会所がもつと欲しいという要望は理解できているが、まげて旧新潟地方事務局加茂出張所の建物は、美術館、博物館的なものにぜひさせてい

スポーツ振興のまちづくりについて

市政クラブ 森山一理 議員

質問 ① 新潟経営大
学は、スポーツクラ
ブが近年目ざましい活
躍をしている。また本
年から競技スポーツマ
ネジメント学科が開設
された。加茂市も体操
ピット施設竣工に合わ
せ、新潟経営大学との
連携でスポーツ振興の
まちづくりを期待する。
これは一つの新たな産
業として位置づけがで
きると考えるが市長の
考えを聞きたい。

② 地域において育児
の手助けが必要な人と
育児の手助けをしたい
人等で組織するファミ
リーサポートセンターについて
取り進む考えはないか。

答弁 ① 新潟経営大学の近年
の活躍は、議員がいわれるよう
にまことに目ざましいものがあ
り、また、スポーツ経営学科を
新設されたことは、非常に優れ
た卓見であると思っている。

特に具体的な計画は立てては
いないが、本年度整備中のサッ
カー場や、また、体操トレーニ
ングセンターの完成を機に、ス
ポーツ振興を図るために、体育
施設の使用料を、今までの市内
に居住する高校生以下から、大
学生以下とし、新潟経営大学を
念頭に、市内の学校の大学生以
下は全部無料とする条例の一部
改正案を提出したところである。

② ファミリーサポートセンター
は、100%の安全性がないと具合
が悪いと思っている。やはり国

小泉改革の問題点について

市民クラブ 安中 弘 議員

質問 ① 小泉改革の基本的な
理念は、民間にできることは民
間に任せ、そして小さな政府を
目指すというものである。

しかし昨今の耐震強度偽造や
下校時の幼児殺害事件の多発な
ど、いづれも犠牲者は善良な市
民であり、最も守らなければな
らない弱者にのしかかってくる
事件等々を思うとき、構造改革
や規制緩和の名のもとで、国が
責任を持って守ることをないが
しろにしている結果であると考
えるが、小泉改革について、市
長はどのように考えているか伺
いたい。

② 義務教育費国庫負担制度の
改革については、地方分権の時
代の中で様々な考え方や意見が
あるが、市長の考えを伺いたい。
答弁 ① 改革と称して民間に

が厳正な資格制度をつくるべき
ものと思っている。

できることは民間に、地方にでき
ることは地方にの基本理念のも
とに、すべてのものを小さくし
ていく、こんなばかげた政策に
よって日本はタマネギを一枚、
二枚むいてゆくように小さくな
り、国民の収入減による税収の
減によって国の借金は雪だるま
式に膨れ上がっていくだろう。
小泉総理の五年間の誤れる政策
によって、日本は惨たんたるも
のになった。一日も早く新しい
内閣が誕生して日本が立ち直る
ことを願っている。

② 義務教育費国庫負担金につい
ては、小中学校の負担分を二分
の一から三分の一に引き下げる
ことで政府、与党は合意したと
の報道があったが、今後どのよ
うな影響を受けるか、注意深く
見守っていききたい。

アスベスト問題の加茂市の対応について

社民党市民連合 星野昭吾 議員

質問 ① アスベスト問題が今
年になって大きな社会問題とし
てクローズアップされている。

加茂市の対応については、去る
十一月の議会全員協議会で議員
から質問があったが、市長はそ
の答弁で現在慎重に調査中とし
て具体的な返答がなかったため、

議長から披露され、歓迎の意を
表してきたところである。しか
し、その後の九月議会、今十二
月議会にも提案がされていない。
引き延ばしている市長の政治
姿勢について伺いたい。

答弁 ① 加茂市においては、
市内公共施設全施設を対象に現
場目視のほか、設計図書等によ
る調査、竣工年度等から吹きつ
けアスベストの有無について調
査した結果、断定できる施設は
なかった。しかし、国の示す基

加茂市の財政状況と公共事業の進捗状況について

市民クラブ 樋口浩二 議員

質問 ① 加茂市の財政状況の
二、三年先の見通しはどうか。
また、現在の公共事業の契約率
はどのくらいか伺う。

② 国は小さな政府を標榜し、
義務教育費国庫負担金制度にメ
スを入れ、地方によっては教育
の目的や水準に差が出てくるこ
とが考えられるが、市長はどの
ように考えているか。

③ 加茂市におけるアスベスト
使用による建築物の状況はどの
ようになっているか。

④ 加茂市の公共事業の現況及
び進捗状況を伺う。

答弁 ① 加茂市の起債制限比
率は、平成十六年度決算で二三・
一％、平成十七年度見込み二二・
七％、平成十八年度見込み二二・
二％、平成十九年度見込み一一・
六％、平成二十年度見込み一一・
一％、となっている。

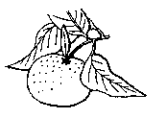
準はアスベストの含有率一％以
上を定義としているため、現在
十二の施設について、財団法人
新潟県環境衛生研究所に分析調
査を依頼している。結果が判明
次第市民に知らせたい。

② 情報公開条例制定について
は、十二月議会に間に合わせる
ことができればと考えたのであ
るが、多忙をきわめ十二月議会
に出すことができず誠に残念で
あると思っている。

また、公共事業の契約率は六
七・七％である。
② まさに、国家百年の大計は
教育にあり、義務教育費国庫負
担金制度は極めて重要であると
考えている。今後、注意深く見
守ってまいりたい。

③ 加茂市においては、現在十
二の施設について、財団法人新
潟県環境衛生研究所に分析調査
を依頼している。結果が判明次
第市民に知らせたい。

④ 公共事業の、国道四〇三号
バイパス、信濃川大橋、主要地
方道長岡栃尾巻線バイパス、県
道天神林上条線、林道今滝冬鳥
越線、五番町商店街都市計画街
路事業、若宮公園整備事業につ
いては引き続き進
捗を図りたい。



障害者自立支援法の影響とその活用について

市政クラブ 高橋 禧雄 議員

質問 ① 障害者自立支援法が十月末に成立され、来年度から施行されることとなったが、加茂市の財政、事務事業に与える影響と、障害者自身に与える影響について聞きたい。

② かねてから要望の強い知的障害者更生援護施設の建設までの間、市所有の未利用建物を利用した知的障害者の福祉サービスが出来ないか提案する。

答弁 ① さきの国会で障害者自立支援法が成立したが、大体このような気の毒な方々に自立せよとは、まことにひどい名前の法律である。制度的に大きく変わるのには障害別にあった制度の根拠法をそれぞれの個別法から自立支援法にまとめ、介護保険と同じように各市町村に認定審査会をつくって、障害区分の認定や支給決定を受けることになる。また、サービス利用の自己負担額については、応能負担から、原則一割の応益負担になったが、負担の月額上限や各種の個別減免などが設けられ、理解が大変なものになる。加茂市の財政への影響については、まだよくわからないというのが実情であるが事務量は増大する。

② 一日も早く二三日のデイサー

看護職員の配置を求める請願を採択

十二月定例会で受理した請願は一件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

世田がん

1件

採択したもの

☆意見書提出を求める請願
・安全でゆきとどいた看護職員の配置を求める請願（新潟県医療労働組合連合会執行委員長）

議会制度改革の実現に関する意見書など提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書二件を可決し、関係機関へ提出しました。その意見書の要約は次のとおりです。

①安全でゆきとどいた看護職員の配置を求める意見書

一、安全でゆきとどいた医療・介護を保障するため、看護職員の配置基準を引き上げる。
二、患者・利用者のいのちと安全を守るため、必要な安全対策のコストを保障する。

三、専決処分要件を見直すとともに、不承認の場合の首長の対応措置を義務付ける。
四、議会の内部機関の設置を自由化する。
五、調査権・監視権を強化する。

全員協議会

十一月二十四日に月例全員協議会が開催され、社会厚生常任委員会行政視察報告や事務に関する説明書の質疑を行いました。また、一月二十三日にも月例全員協議会が開催され、産業建設常任委員会・医療問題特別委員会行政視察報告や事務に関する説明書の質疑などを行いました。

平成 17 年の 議 会

議会開催状況 [委員会は視察等を含む]

会 議 名		日 数
全 員	本 会 議	2 1
	連 合 審 査 会	4
	全 員 協 議 会	2 0
常 任 委	総 務 文 教 常 任 委 員 会	8
	産 業 建 設 常 任 委 員 会	1 0
	社 会 厚 生 常 任 委 員 会	8
常 設	議 会 運 営 委 員 会	2 0
特 別 委	決 算 審 査 特 別 委 員 会	4
	医 療 問 題 特 別 委 員 会	9
そ の 他	議 会 だ よ り 編 集 委 員 会	4
	各 派 交 渉 会 ほか	1 3
合 計		1 2 1

案件と議決状況

案 件	件 数	議決状況	件 数
市 長 提 出	条 例	原 案 可 決	7 7
	予 算	認 定	8
	決 算	同 意	4
	人 事	不 同 意	1
	専 決	承 認	2 1
	そ の 他		
計	1 1 1	計	1 1 1
議 員 提 出	条 例	原 案 可 決	1 5
	意 見 書	継 続 審 査	1
請 願	1 1	採 択	1 1
合 計	1 3 8	合 計	1 3 8

ほかに陳情2件を配付して報告
他市町議会議員等の視察来市 8件 45人

10月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
84	三条地域水道用水供給企業団を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	原案可決

11月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
85	専決処分（新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更）	承認
86	17年度一般会計補正予算（第9号）	原案可決
87	特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正	〃
88	職員の給与に関する条例の一部改正	〃
89	乳幼児の医療費助成に関する条例の一部改正	〃

12月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
議案番号	件名	議決状況
14	情報公開条例	継続審査
15	安全でゆきとどいた看護職員の配置を求める意見書	原案可決
16	議会制度改革の早期実現に関する意見書	〃
市長提出議案		
90	17年度一般会計補正予算（第10号）	原案可決
91	17年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	〃
92	17年度老人保健特別会計補正予算（第3号）	〃
93	16年度一般会計決算の認定	認定
94	16年度国民健康保険特別会計決算の認定	〃
95	16年度老人保健特別会計決算の認定	〃
96	16年度宅地造成事業特別会計決算の認定	〃
97	16年度下水道事業特別会計決算の認定	〃
98	16年度介護保険特別会計決算の認定	〃
99	16年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定	〃
100	体育施設条例及び加茂勤労者体育センター条例の一部改正	原案可決
101	県央広域市町村圏協議会を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	〃
102	県央広域市町村圏協議会を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更	〃
103	さくら福祉保健事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	〃
104	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	〃
105	県央土地開発公社定款の一部変更	〃
106	教育委員会委員の任命（保坂裕一氏）	同意
107	公平委員会委員の任命（大森康正氏）	〃
108	17年度一般会計補正予算（第11号）	原案可決
109	17年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	〃
110	老人福祉施設条例の一部改正	〃
111	17年度一般会計補正予算（第12号）	〃

1月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
1	専決処分（17年度下水道事業特別会計補正予算第2号）	承認
2	専決処分（17年度一般会計補正予算第13号）	〃
3	専決処分（17年度一般会計補正予算第14号）	〃
4	17年度一般会計補正予算（第15号）	原案可決
5	17年度水道事業会計補正予算（第1号）	〃

連合審査会

十二月九日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案十七件について、総括質疑を行いました。

7月9日 産業建設常任委員会
行政視察（伊勢市・尾道市）

〔視察事項〕

- ・内宮おほらい町
- ・高校生絵のまち尾道四季展

29日 議会運営委員会

〔12月〕

6月21日 定例市議会
14日 議会運営委員会

〔1月〕

17月18日 医療問題特別委員会
行政視察（中津市）

23日 臨時市議会
月例全員協議会

議員懇談会

31日 中越地区市議会議長会
議会だより編集委員会

〔長岡市〕

議会だより編集委員

- 委員長 関 龍雄
副委員長 安武 秀敏
委員 中野 元栄
委員 安田 憲喜
委員 茂岡明与司
委員 高橋 禧雄
委員 樋口 博務
委員 大桃 一明

集委員に選出されました。

議会日誌

〔11月〕

18日 議会運営委員会
24日 臨時市議会
月例全員協議会

19日 議会運営委員会

任期満了により、各常任委員
会から次の者が、議会だより編